

地盤調査規格・基準委員会

平成27年度第1回 議事録

日時	平成27年7月7日 (火) 14:00~17:00			場所	地盤工学会 会議室			
委員長	利藤 房男	○	幹事(岩)	長田 昌彦	×	幹事(土)	浜田 英治	○
委員	久内 伸夫	○	WG1委員	窪田 健二	×	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	○	WG3委員	竹内 真司	○	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	○	WG5委員	小早川 博亮	×	WG5委員	百瀬 忍	×
WG6委員	藤田 智弘	×	WG7委員	浅井 健一	○	WG7委員	吉田 輝	○
WG8委員	伊藤 圭二郎	×	WG9委員	長田 昌彦:兼務	×	WG10委員	杉井 俊夫	△
WG10委員	細谷 真一	△	WG11委員	平林 弘:兼務	○	WG12		△
WG13(幹事)	横山 幸也	△	WG14委員	竹内 真司:兼務	○	WG13GJ-ター	伊藤 高敏	◎

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録 (H27-2-23)	・ 資料27-1-1
基準部会	・ H26第6回(H27. 03. 02)議事録 ・ H27第1回(H27. 05. 12)議事録	・ 資料27-1-2 ・ 資料27-1-3
	・ H27メンバー表 (変更分)	・ 資料27-1-4
基準部会・英訳実行委員会	・ 英訳基準原稿のWG照会事項等	・ 資料27-1-5
ワーキング3	・ WG3活動報告「H27第1回議事録」	・ 資料27-1-6
	・ 新規基準「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」の英訳	・ 資料27-1-7
ワーキング10	・ WG10活動報告「H27第1回議事録」	・ 資料27-1-8
	・ 新規基準案「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」＜審議＞：公示前の最終版	・ 資料27-1-9
ワーキング11	・ 動的コーン貫入試験の解説	・ 資料27-1-10
	・ 動的コーン貫入試験の英訳基準	・ 資料27-1-11
ワーキング13	・ 水圧破碎法基準案	・ 資料27-1-12
会員からの質問	・ 前回委員会以降の会員からの質問と回答	・ 資料27-1-13

審議事項

- (1) 新規基準案「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」＜公示前の最終版＞(資料27-1-9)
 - ・ WG10小松委員より、前回委員会や基準部での指摘事項についての修正について説明がなされた。
 - ・ 特に異議がなかったため、次回基準部に上申する。

→7/21の基準部会での審議事項

- (2) 「動的コーン貫入試験の解説」(資料27-1-10)

- ・WG11の平林委員より資料の説明がなされた。前回の委員会での指摘事項について修正されていることを確認した。
- ・利藤委員長より本基準はJIS規格化を進めるべきとの意見が出され、全員一致で賛成した。
※JIS規格化の手順を事務局に確認したところ、「JIS規格化の趣意書」を基準部に上げる必要があるとのことであった（様式自由）。

→7/21の基準部会での審議事項

(3) 「動的コーン貫入試験の英訳基準」(資料27-1-11)

- ・WG11の平林委員より資料の説明がなされた。
- ・英文タイトルは文頭のみ大文字とすることとした。

→7/21の基準部会での審議事項

(4) 「水圧破碎法による初期地圧の測定方法」基準案(資料27-1-12)

- ・WG13の伊藤グループリーダーより、基準案の説明がなされた。
- ・委員より以下の意見が出された。

「1 適用範囲」

☞本試験に適用できる岩種等を記載した方がよい。

「3 用語及び定義」

☞シャットインは、送水を止める動作か、放置する時間まで含めるか説明が必要。それにより後の文章や図表示が変わる。

☞シャットインやコンプライアンス等、海外の基準から導入した用語は、元の英語の意味を反映させる。

☞ISIP法の説明があったほうがよい

☞図1の水圧破碎の概念図は、基準ではなく解説に入れるべき。

「4.1 水圧破碎試験装置」

☞圧力計、流量計、方位計の精度や分解能の記載が必要ではないか。

☞適切な試験区間長についての記載があった方がよい。

「5.2 測定手順」

☞同じ節内の「注記」は、a)～e)まで通し番号を付ける。

☞図4～図9は、付属書(参考)に入れる。

☞図4は、c)注記での記述通り、3回繰返しの図が望ましい。

「6 計算」

☞式(3)で用いる引張強度Tの決定方法の記載が曖昧なので、注記か解説に決定方法に関する記載があった方がよい。

☞基準には、式(1)(2)だけを記載した方が良いとの意見も出された。

報告事項

- (1) 前回議事録確認(メール審議で承認済み)(資料27-1-1)
 - ・特になし
- (2) H26第6回の基準部会議事録(メール配信にて報告済み)(資料27-1-2)
 - ・特になし
- (3) H27第1回の基準部会議事録(メール配信にて報告済み:資料27-1-3)
 - ・地盤調査規格・基準委員会のWG10の名称を変更する。
- (4) 地盤調査規格・基準委員会H27メンバー表(変更分)(資料27-1-4)
 - ・WG2のメンバー表が配布資料から抜けているが、基準部で承認されているか確認する。
 - ※本委員会及び基準部会でも、メール審議にて承認されていることを確認した(幹事)。
- (5) 基準部会・英訳実行委員会(英訳基準原稿のWG照会事項等)(資料27-1-5)
 - ・浜田幹事より英訳基準の作業進捗と、担当WGへの意見照会についての説明がなされた。
 - 特に異議なし。
- (6) ワーキング3活動報告「議事録」(資料27-1-6)

「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」の英訳(資料27-1-7)

- ・「地下水理論式」の書籍化は3年を目途とするが（WG3）、書籍化するにあたっての条件や手順を事務局にて確認する（幹事）。
 - ・「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」基準案が、理事会で承認されているか確認する。
※H27.1.30の理事会議事録で、本案が承認されていることを確認した（幹事）。
 - ・WG3小松委員より、「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」の英訳版（作業中）についての説明があった。
- (7) ワーキング10活動報告「議事録」（資料27-1-8）
- ・特になし
- (8) 前回委員会以降の会員からの質問と回答（資料27-1-13）
- ・WG4平林委員と浜田幹事が説明した。
特に異議なし。